

ドイツ人医師はQOLが高い?! 日本との違いは? from安先生



このインタビュー企画は、
チームWADA学生部の田中委員長の記事を偶然見かけた
ひよっこ of ひよっこ医学生の服部が「僕もやりたいで
す!」と半分勢いで便乗してまとめてみたものです。
とりあえずがんばります!

今回の対談メンバーはこちら↓



ゲスト
安健太 Kenta An
ドイツ
カールスブルグ心臓糖尿
病センター
心臓外科

インタビュアー
服部圭真 Keishin Hattori
日本
三重大学医学部医学科3年生

服部 17:09 ドイツの魅力は何ですか?

安先生
1つは症例数が多いことです。ドイツには80しか心臓外科がなく、年間
の症例数は1000以上になります。症例数が3000を超えるところも少なく
ありません。つまり、ドイツでは1つの施設にたくさん症例が集まるため、
いわゆる「センター化」が進んでいると言えます。一方で、日本で600以上
の心臓外科のうち60%は症例数が100以下です。私の場合、1年間で400~5
00件ほど手術に参加しました。このおかげで細かい手技のスピードも速く
なり、全体的なスキル向上を感じることがあります。

17:10

服部 17:10 なるほど。アメリカに限らず、ドイツでも症例数の多さは日本には無い魅力の1
つなんですね。

服部 17:11 実際、日本人がドイツで働くことは難しいのでしょうか。

安先生
数値が低いとまでは言えませんが、十分にチャンスはあると思います。2
012年からはドイツの医師免許取得がマストになったので、難易度はかなり
高くなってきています。しかしながら、現状ドイツの医師の数は不足してお
り、外国人医師でその不足を補おうという姿勢が強いです。心臓外科だと2
日に1件くらいは求人広告のサイトで募集を見かけますし。募集条件の中
には、ドイツの医師免許保持に加えて、医学部を卒業する者、ドイツ語を習
得している者といった記述があります。もしドイツ人しか採用していなかつ
たら、このような記述はいりませんよね(笑) ドイツ語の習得が一番重要で
かつ大変なことです。ぼくは語学が全然ダメでとても苦労しました。

17:12

服部 17:12 先生の記事を拝見した際にも、ドイツ語の勉強に苦戦されていたことはひしひ
しと伝わってきました(笑) (安先生の記事のリンクはaLocにあります!)

服部 17:14 ドイツの労働環境はどうですか?

安先生
ドイツでは「医者も労働者の1人」として守られており、国民もそれを理解
しています。決まった時間になったら、即帰宅。起動した時間はしっかり記
録し、1年のうち6週間(正確には年間29日でこれに土日を加えておおよそ6
週間)の有給が義務付けられています。この前、病院の事務に呼び出されて
何かと思ったら、「有給を取れ!」とすこく怒られました。机叩いてまし
た。こういった点を踏まえると、医師としてのQOLは高いです。日本人は
、ドイツの医師に少しドライな印象を受けるかもしれませんが(笑)

17:14

服部 17:15 これもまた、日本ではなかなかない体験ですね。日本では医師の過重労働が問
題にもなってますし...

安先生
日本では、心臓外科の数が多すぎて1つの施設あたりの心臓外科医の数が少
ないのが、最大の問題点なんですね。最近はそのようなことが問題視さ
れ始めているので、少しずつ改善されると嬉しいですね。

17:16

服部 17:16 海外を視野に入れる学生達に一言お願いします。

安先生
英語の勉強はやっておいた方がいいと思います。ちゃんとコミュニケーション
が出来ないと、信頼を失います。逆に語学が出来ると、多くのチャンスを
掴めます。あと、1回海外に行くことです。普通の海外旅行でもいいですが
、もっと深く突っ込んで病院見学とか。国内でも有名病院の見学とか行っ
てみると、やる気ある他大学の学生達と知り合えるチャンスがあって、そこ
でいるんな情報が得られたりするのでオススメです。

17:17

今回の学び

- ① 症例の多さはやっぱり魅力的!
- ② ドイツの医者はQOL高め
- ③ 語学はしっかり勉強しよう!

安先生、ありがとうございました!

